

七戸町ゼロカーボン推進協議会第3回会合 議事要旨

【開催概要】

日時：令和5年2月7日（火）13：30～14：45

場所：七戸中央公民館 大ホール

議事：

- (1) 前回議事概要について
- (2) ゼロカーボン総合戦略について

【議事要旨】

◎議事（1）：前回議事概要について

- ・ 第2回七戸町ゼロカーボン推進協議会の議事概要を確認し、了承された。

◎議事（2）：ゼロカーボン総合戦略について（再生可能エネルギー導入目標）

- ・ 温室効果ガスの将来推計は全体量の数字を示している。これを示すためには再生可能エネルギーの導入目標を検討する必要がある、具体的な時期は明確ではないが、ゼロカーボン達成に向けた削減量の推定が示されていると理解した。（本田会長）
- ・ ゴミ分別による削減効果は12,000トンと示されているが、分別促進に向けた具体的な取組は考えているのか。（久慈委員）
⇒現時点で具体的な取組はないが、廃プラスチックのエネルギー化といった取組を導入目標に加筆する必要があると考える。（事務局）
- ・ 事業計画はこれから作成するものであるため、「具体的な事業計画がないため対象外」という表現は修正すること。（本田会長）
- ・ 再エネ導入量と七戸町内の消費電力とのバランスはどのように考慮されているのか。また、導入目標の電力量はポテンシャルの積み上げによるものか。町内人口で按分した場合、提示される数字にはならないため、整合性を確認する必要がある。（平戸委員）
⇒計算上はポテンシャルの積み上げとしている。消費電力量とのバランスは考慮する必要がある、今後、整合性についても配慮したい。（事務局）
⇒電力量の正確な数値を入手できる場合は、反映すること。（本田会長）
- ・ 風力はポテンシャルが高いが、具体的な導入目標やゾーニングの検討を行っているのか。（細谷委員）
⇒具体的な考え方を示すにとどまっており、発電規模や設備の配置場所は未検討である。また、導入コストやFITの活用により、CO₂削減の環境価値が地元還元されない点が課題と考えている。ゾーニングの検討については、大規模風力発電を対象にすることを想定しているが、現在は小規模風力発電を公共施設へ導入するための調査

を行っている段階である。(事務局)

◎議事(2): ゼロカーボン総合戦略について(提示戦略)

- ・ バイオガス発電の原料は肉牛ふん尿で問題ないのか。また、資料内の試算では2歳以上の肉牛と仮定して試算しているが、過大評価ではないか?(植田委員)
⇒文献値を引用して最大の発電規模を試算したが、検討を進めるに当たっては、実情に即した試算を行う必要がある。(事務局)
- ・ 森林バイオマスによる削減効果の内訳と費用対効果を知りたい。(久慈委員)
⇒大部分は森林吸収によるものである。ペレットストーブによる削減効果は補助的な位置付けとし、補助金を活用した導入を考えている。原料となるペレットの生産にも費用面や技術面の課題はあるが、温かみや雰囲気といった魅力を重要視する愛好家もいることから、普及に向けたアピール方法を検討することでより具体的な取組みに結びつけることができる。(事務局)
- ・ 太陽光発電や風力発電は気候によって変動する電力であるが、揚水発電は電力調整が可能な発電設備となる。地域課題に対して様々な解決手段を考えていることから、水の利用も強みとして検討いただきたい。(本田会長)

◎議題(3): 今後の予定について

- ・ 改正された地球温暖化推進法では、市町村が協議・設定した再エネ導入推進区域内の地域脱炭素化促進事業とすることで手続きを簡略化することができる。来年度の区域施策編策定の際には促進区域についても検討を進めてほしい。(細谷委員)
⇒区域施策編は、令和5年度に策定する。より具体的な計画にするため、県からの情報提供もお願いしたい。(事務局)
⇒青森県内で区域施策編を策定した自治体は少ないことから、県としても区域施策編を策定したい自治体があれば支援する。(細谷委員)
- ・ 令和5年4月以降は地球温暖化対策実行計画の区域施策編を策定し、戦略の展開に向けた検討を進める。(事務局)

以上